

開講科目名 / Course	看護の倫理	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	平野 互	
担当教員名 / Instructor	小野 美喜、平野 互	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	<p>看護専門職に必要な倫理的態度、生命倫理・医療倫理の基礎知識と倫理的判断能力を習得することを目的とする。</p> <p>Bioethics（生命倫理）と看護の倫理規定に関する基本原則を理解し、倫理的判断の基本を学ぶ。さらに、看護職の直面する諸々の倫理的課題の解決に向け、事例演習を通じて、保健・医療・福祉における倫理的課題の存在と倫理的意思決定について学ぶ。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Bioethics（生命倫理）と医療倫理に関する基本原則を説明できる。 2. 看護専門職者としての責任と倫理原則を説明できる。 3. 保健・医療・福祉における患者・利用者の権利を説明できる。 4. 保健・医療・福祉における種々の倫理的課題を分析・評価できる。 5. 倫理的課題を解決するための方法を考察できる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、 2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、 3. 心豊かな人間性と倫理観、 4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. Bioethics：生命倫理の展開と課題 02. Professionの責任と倫理、看護の倫理規程 03. 看護職の価値観と文化、社会規範 04. 医療従事者の事故対応と責任 05. 臨床倫理：倫理的判断の方法 06. 意思決定にかかわる倫理 07. 人間の尊厳、個人の尊重と自立支援 08. 生殖補助医療にかかわる倫理 09. 出生前診断と倫理 10. End of lifeに関わる倫理 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとに具体的な事例を取り上げる事例演習を行う。 ・ミニ・レポートで学びを振り返り、質問を受け付ける。 	
時間外学修	テキストを用いて事例演習を行うため、テーマに関連するテキストの事例を予習すること。	
評価方法と評価割合	授業の際に提出を求めるミニ・レポート 20%、 期末レポート 80%	
テキスト	ケースブック 医療倫理（医学書院） 毎回、ハンドアウトを配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		